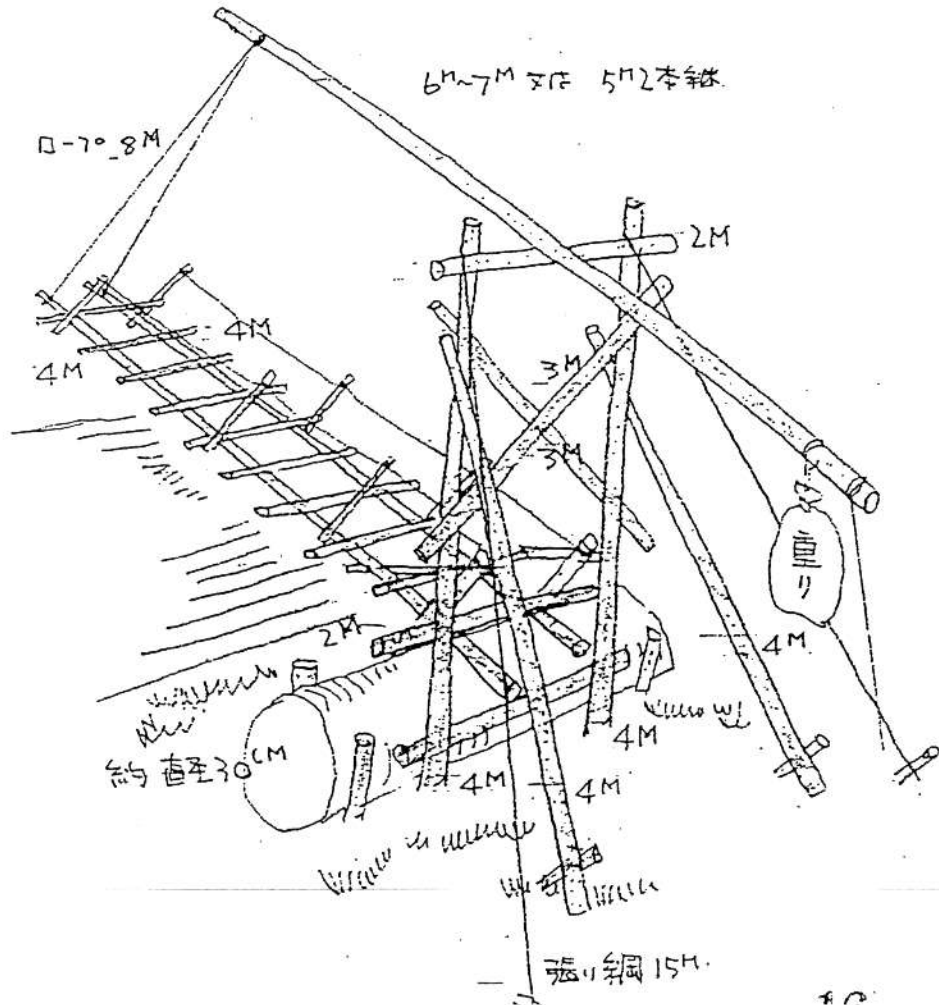
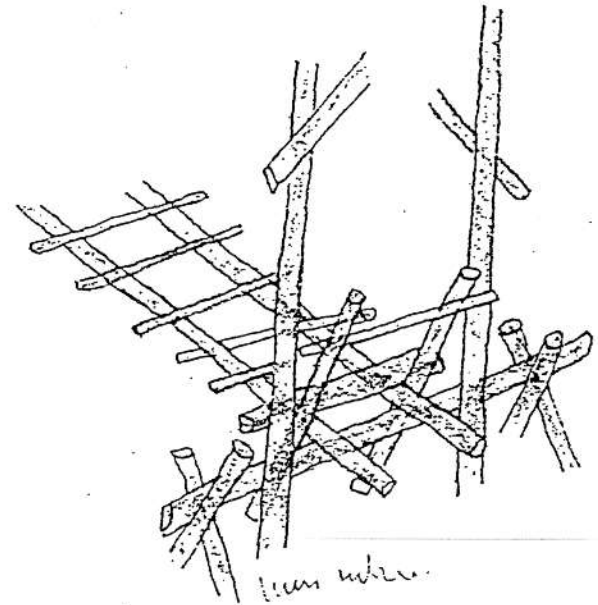


№3 自動開肉橋。(はね上り橋)



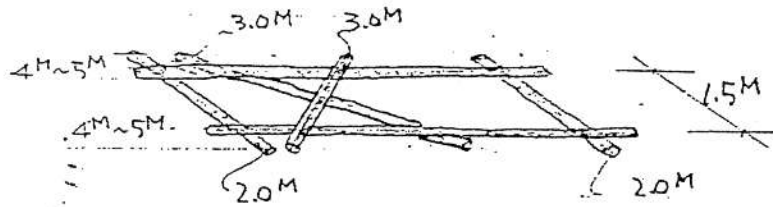
- | | | | |
|------------------------|-----|----------------------|------|
| 1 丸太 7M~8M
又は 5M+5M | 1本 | 8 0-7°(吊) 6M 1cm | 2本 |
| 2 " 4M~5M | 6本 | 9 " (昇降用) 8M 1.5cm | 1本 |
| 3 " 3M | 2本 | 10 " (張り綱) 10M 1.5cm | 2本 |
| 4 " 2M | 3本 | 11 重り | 2~1t |
| 5 " 1M 1.5 | 18本 | 12 蒸上り (約3M) | 60本 |
| 6 " 1M (不抗) | 8本 | 13 引張 0-7° 8M | 1本 |
| 7 " 2M φ300 | 1本 | | |

太丸太(直径約30cm)の無い場合。



A 準備.

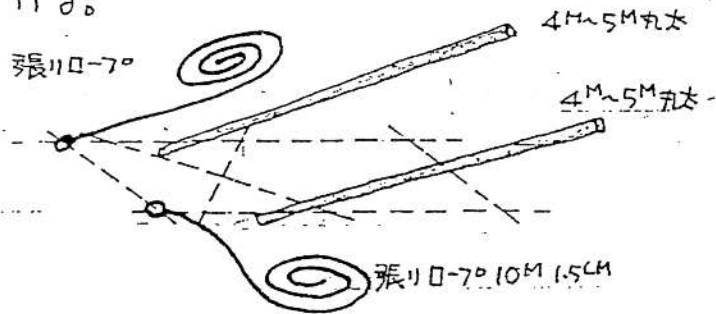
1 鳥居台を組む。



注1 台の根元はそろえる。

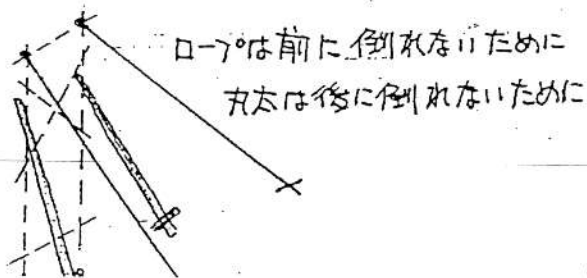
注2 根元より鳥居の上丸太までの長さは同じにする。

2 組んだ鳥居台に 4M~5M丸太及張り綱を取り付ける。

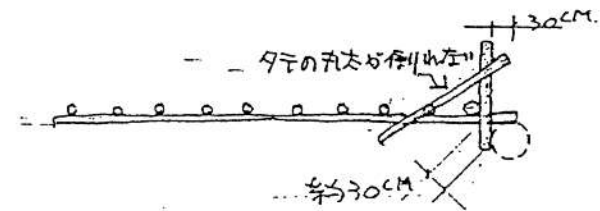
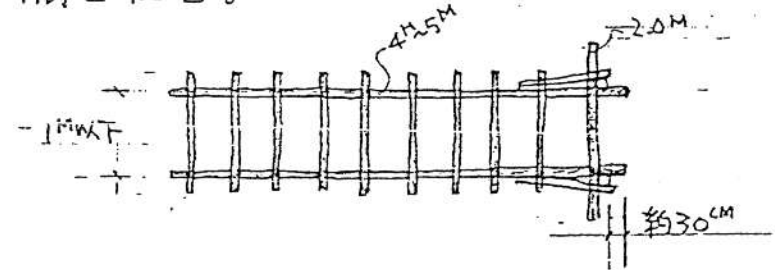


注1 取り付ける丸太は同じ長さの物で取付ける。

注2 10-15mmは脚丸太と横丸太とに取り付ける。

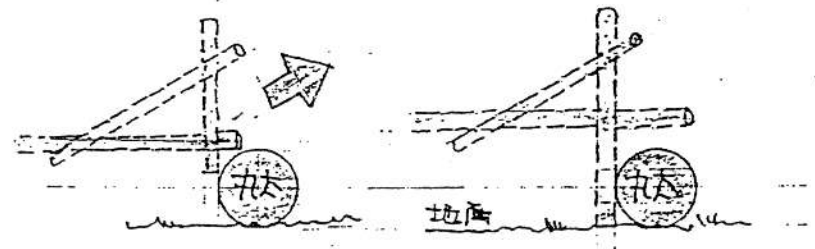


3 川の幅が約2M (4M~5M丸太使用)の梯子橋を組む。



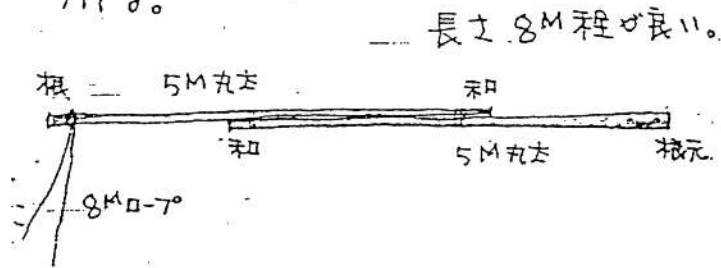
注1 太い丸太にやける部分(約30cm)が少ないと危険である。

注2 多いと橋を揚げた時に地面につかえて困る。

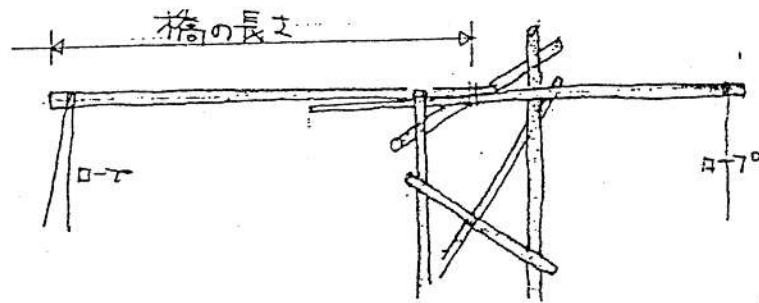


丸太が外れて危険。丸太に架りないう。

4 天秤棒を作り先端に8^Mロ-7°を取り付ける。



5 梯子橋の長さを測定しその長さを天秤棒にしるしをしその真の所を鳥居台に取り付ける。



注1. 天秤棒は鳥居台の真中に取り付ける

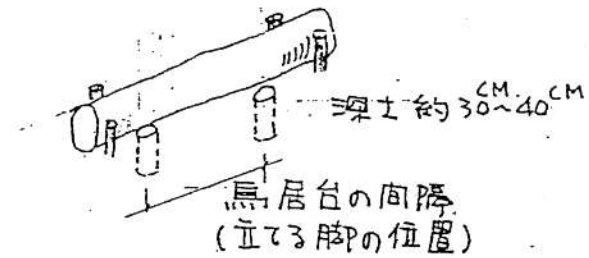
注2. 結びは少しゆるくする。

6 重りを作る。

7 川岸に太い丸太を置き動かないように杭を4本打つ。

B 組み立て。

1 準備⑦で置いた丸太の横、鳥居台の脚を埋める穴を掘る。



2 鳥居台を穴の位置に立て控え丸太(倒れなないようにする2本の丸太)及び引張りロ-7°を強くはる。

注1. 鳥居台は垂直に立てていること。

注2. 上の横木は水平になっていること。

注3. 台の足元は動かないようにしっかり埋める。

注4. 控え丸太の足元はしっかり止める。

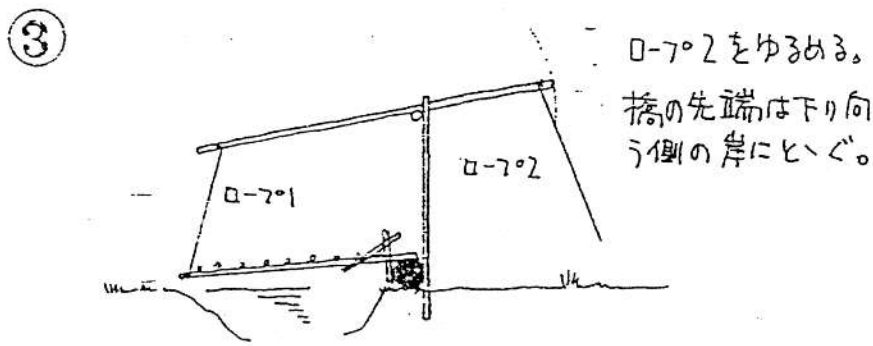
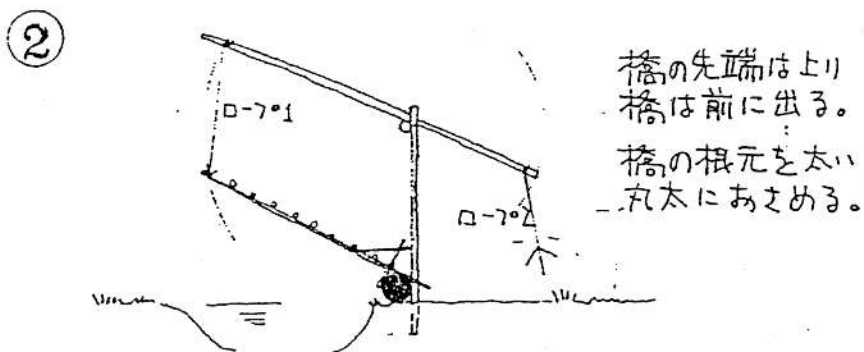
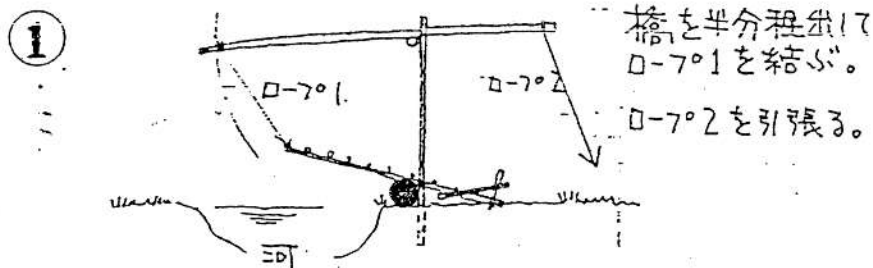
注5. 張りロ-7°のアンカーは強いが。

注6. 鳥居台はしっかり立てているが。

3 梯子橋の先端を鳥居台の中に入れて先端に天秤棒のロ-7°(準備④のロ-7°)結び。

C 起す。

1 梯子橋を少しづつせり出す。



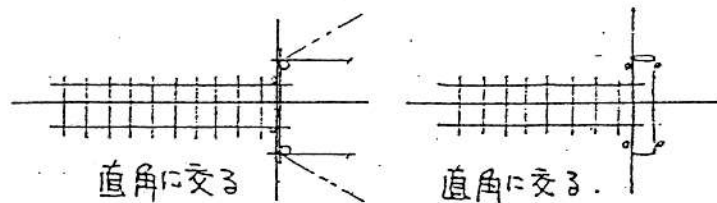
2 手摺を取り付ける。

3 天坪棒の根元に重りを取り付けバランスの調整をする。

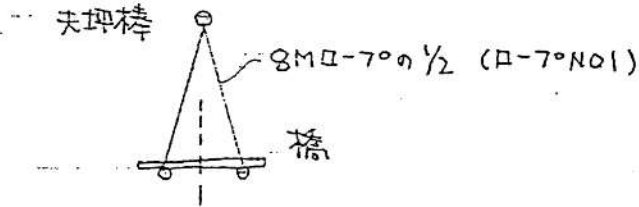
D 点検

1 鳥居台と橋は直角になっているか。

2 丸太台と橋は直角に交っているか。



3 先端のR-7°は同じ長さや。



4 鳥居台はねじれていないか。